

## 観測指示書 (19B-K-0013)

PI: 山中雅之 (yamanaka@kwasan.kyoto-u.ac.jp)

### A. PI からの指示内容

TOO トリガーは 2 種類存在する。

(1) **プレーザーの場合** ターゲット天体は一度の TOO トリガーで複数 (最大 10 天体程度) 存在している可能性が高い。PI もしくは Co-I は各々の天体の位置情報(RA,Dec)と天体のカタログ等級の情報を伝える。同時に広島大学かなた望遠鏡や東京大学木曾シュミット望遠鏡で観測が行われているので、現状の等級は随時更新される。赤方偏移は天体ごとに異なるか不明であるため、天体ごとにグリズム(VPH-blue/VPH-red)の指示を行う。露出時間は 600 秒 x N 回となる。N は天体の等級と観測実施する天体の数に依り、その都度 PI から指示を行う。また、スカイ領域の指示も行う。

(2) **超新星の場合** 候補となる天体はおそらく 1 天体となる。使うグリズムは VPH-red(もし使用が難しいならば VPH-blue)。露出時間は 600 秒 x N 回で、N は等級に依る。また、スカイ領域の指示も行う。

※また、双方ともに具体的観測の指示が無い場合、デフォルトは以下のセットアップとなる。

- 使用可能であればイメージローテータ有り。
- グリズムは VPH-blue を使用、利用不可能であれば VPH-red。
- 積分時間は 1 フレーム 10 分、それを 4 回実施。観測時間合計 1 時間程度。

### B. 天体の観測

1. ターゲット天体の観測
2. スカイ領域の観測。ターゲットから 10'以内で視野内に~20 等より明るい天体が無い領域を希望
3. 標準星(下記)の観測 (標準星リストは、せいめい望遠鏡で用意されている天体を使用)

### C. 観測前あるいは終了後のデータ取得

1. ターゲットに対して実施したセットアップでの Comparison ランプの取得
2. ターゲットに対して実施したセットアップでのドームフラットの取得

### D. ToO トリガーをかける可能性のある人の連絡先

山中雅之: yamanaka@kwasan.kyoto-u.ac.jp

太田耕司: ohta@kusastro.kyoto-u.ac.jp

諸隈智貴: tmorokuma@ioa.s.u-tokyo.ac.jp

内海洋輔: youtsumi@stanford.edu

川端弘治: kawabtkj@hiroshima-u.ac.jp

笹田真人: sasadam@hiroshima-u.ac.jp

伊藤亮介: itoh@bao.city.ibara.okayama.jp